

令和元年5月22日

磐田市議会議長 寺田 幹根 様

会派名 きずなの会

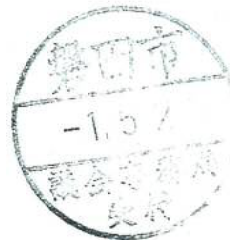
代表者 山田 安邦

会派行政視察研修等報告書

会派視察研修等の結果について、磐田市議会政務活動費の交付に関する規則第5条の規定により、下記のとおり報告します。

記

期 間	令和元年5月9日(木)～元年5月10日(金) 2日間
視察先 研修会 日 程	(1) 5月9日(木) 13:00～17:30 (2) 5月10日(金) 9:30～15:25
参 加 議 員	鈴木正人、戸塚邦彦、小栗宏之 (小栗議員は9日のみ参加)
調 査 事 項	第11回日本自治創造学会 研究大会 <会 場> 明治大学アカデミーコモン棟 アカデミーホール 東京都千代田区神田駿河台1-1 <テーマ> 新時代到来！ ～地方はどう生き残るか～ 【5月9日】 大会挨拶 講演 事例発表 質疑 【5月10日】 講演 パネルディスカッション



きずなの会 会派研修報告書

【研修日程】 5月9日 13:00～17:30・10日 9:30～15:25

【研修場所】 明治大学

【研修内容】 日本自治創造学会 研究大会

講演会・パネルディスカッション（新時代到来！～地方はどう生き残るか～）

5月9日(木)

- (1)講演「自立へのシナリオを語る」（穂坂邦夫（自治創造学会理事長・元志木市長））
 - ・住民参加と協働のシナリオづくり
 - ・徹底した情報開示と住民への理解促進
 - ・行政と議会の役割の再確認・住民への理解と住民参加の実現
- (2)講演「真の地方創生と地方自治」（片山善博（早稲田大学教授・元鳥取県知事・元総務大臣））
 - ・地方創生とは何か
 - ・国の政策に躍らされず、自分達で考える。
 - ・人事任命権の行使
 - ・アメリカ議会による住民発言機会
 - ・議員の仕事は決める事（質問は誰でも出来る）
- (3)事例発表
 - ①「地域ビジネスを成功させる知恵と実績」（竹井智宏（MAKOTO 社長））
 - ・日本発再チャレンジ特化型ファンド「福活ファンド」組成・起業家育成
 - ②「地方はチャンス～1粒1,000円のライチの軌跡～」(齋藤潤一（こゆ財団）)
 - ・持続可能な地域づくりに貢献し、地域を変えるビジネス
 - ・消費×投資○
 - ・シリコンバレー流地域づくり
 - ③「外国人対策」（谷畑英策湖南市長）
 - ・多文化共生社会の政策展開・課題・限界
- (4)講演「少子高齢化を乗り切る取り組み」（齋藤健（前農林水産大臣・衆議院議員））
 - ・ゆでガエルにならないために
 - ・五輪は農産物宣伝の大チャンス

5月10日(金)

- (1)講演「SDGsと地域循環共生圏の実現」（中井徳太郎（環境省総合環境政策統括官））
 - ・環境基本計画の基本的方向性・地域の再生可能エネルギーの活用等による地域経済の効果
- (2)講演「日本の課題と可能性」（村上由美子（OECD東京センター所長））
 - ・全世界的な高齢化社会
 - ・高齢化によるチャンス
- (3)講演「スポーツがもつ力と地域活性化」（藤江陽子（スポーツ省審議官））
 - ・スポーツツーリズムについて
- (4)講演「日本が売られる～自然体は最後の砦～」(堤末果（国際ジャーナリスト）)
 - ・100年後を見据えた政策
 - ・食のコントロール
- (5)パネルディスカッション：新時代到来！～地方どう生き残るか～
 - ①問題定義：金井利之（東京大学教授）
 - ②パネリスト：牛山久仁彦（明治大学教授）
 - ③パネリスト：土居丈朗（慶応義塾大学教授）
 - ④パネリスト：山下祐介（首都大学教授）
 - ⑤コーディネーター：穂坂邦夫（自治創造学会理事長・旧志木市長）

【考察】

全国から県議会議員や市議会議員を初め、行政職員1,000人超が集まり、大学教授や国会議員等による、講演やパネルディスカッション形式の研究大会であった。テーマでの「新時代到来！地方はどう生き残るか」に即した、令和の改元による新たな新時代を見据えた研究会であった。

今、日本は少子高齢化の大きな課題を抱えている一方、チャンスも潜んでいる。如何にチャンスをチャンスとして認識する事が出来るかが、大切であることが分かった。

また、地方議員は、政策課題や政策選択の幅が広いため、多様な意見を踏まえた意思決定を行うことや、より高い専門性が求められるなど、現実として多くの課題を抱えていることが伺えた。議会に求められている事や欠けているものが何であるのかが掴め、今後、議員として住民とどのように向き合い接していけば良いのか、道筋が掴めた研究会であった。

議員として「ゆでがえる」にならないために、今回の研修会は、原点に立ち返って考えてみる良い機会でした。